

ウクライナの子どもたちと家族を守る

ユニセフ 支援の現場から (5月2日時点)

ウクライナでの戦争が長期化する中、子どもたちは心身ともに深刻な影響を受けています。これまでに450万人(90%が女性と子ども)が周辺国への避難を余儀なくされました。ユニセフは、支援を必要としている子どもたちと家族のために、ウクライナ国内と周辺国において、緊急保健・医療物資の輸送、子どもや妊産婦への栄養支援、安全な水・衛生用品や移動式トイレの提供、心のケア支援、教育の継続と保護などを行っています。

ウクライナ国内： 激戦が続く東部ハルキウ(ハリコフ)では、地下鉄の構内が、地上の戦闘から避難してきた数千の人々が暮らすシェルターとなっています。ユニセフはそこで、子どもたちが遊んだり学んだりできる場所を設置し、子どもたちの心のケア支援を行っています。ノートや文房具、粘土、絵の具なども支援するこの空間は、ボランティアの人々によって機能し教師の資格や心理学などの専門知識を持った人々が活動しています。ユリア・クルーラさんはボランティアのひとりです。10年間の教師経験があることから、今回、子どもたちと関わる活動に参加することに決めました。「子どもたちは重度のストレスにより、不眠や、コントロールできない怒りに悩まされています。中には、心の病を抱える子もいます。子どもたちの精神状態をすこしでも良くするために、この空間では、体操や深呼吸などで一緒に体を動かしています。少しの間でも戦争のことを考えずに、日常を感じてもらうためです」とユリアさんは話します。

ウクライナ周辺国： 国境を越えている難民の家族の避難生活を支えるため、衣類、寝具、毛布、テント、発電機、ベビーフード、栄養補助食などの支援物資を提供している他、予防接種や教育支援、心のケア支援をおこなっています。子どもたちと家族の安全を守るための「ブルドット」という支援拠点をウクライナと国境を接する周辺国に設置し、食料や水の提供、交通手段や宿泊場所を確保するほか、健康チェックを行っています。子ども



キエフ産婦人科センターで、支援物資の体重計を使って赤ちゃんの体重を計測する様子。(ウクライナ、2022年3月撮影)



支援拠点ブルドットで遊ぶ5歳の女の子。(4月撮影)



あなたかいご支援を
ありがとうございました

ユニセフ・ウクライナ緊急募金

たち用の

遊び場もあり、子どもの保護の専門家による心のケア支援も提供しています。またデジタル学習プラットフォームに関する情報の提供、レクリエーション教材の提供などの支援も行なっています。非常事態の際、幼い子どもは特に人身売買や虐待などのリスクにさらされるため、子ども一人ひとりを登録し、安全な居場所を確保し、必要に応じて保護することが非常に重要です。難民の家族への支援として、ユニセフは引き続き、最も脆弱な立場にある子どもたちと家族に支援を届けてまいります。ご支援有難うございました。